

## 施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 4 - (1)

政策体系	施策名	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	49
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、農林水産部、土木建築部		

### 【 . 主な取り組み】

取組				
取組項目	自然や生物多様性の保護・保全と適正利用の推進	快適な地域環境の保全と創造	温泉資源の保護と適正利用の推進	日本ジオパークなどの地域資源を活用した地域振興の推進

### 【 . 目標指標】

指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
NPOとの協働による生物多様性保全活動の実施件数(件)		H26	80	86	90	104.7%	90	96						

### 【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	希少野生動植物の保護や特定外来生物の駆除、里山の保全など、幅広い保全活動をNPOと協働して実施したことにより、目標値を達成した。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護体験型エコツアーの実施により、自然保護活動について県民の理解が深まった。</li> <li>・自然保護団体の研究発表会を開催し、県内団体間のネットワークづくりが促進された。</li> <li>・地域におけるアライグマの防除のために5市町参加による連絡調整会議を開催し、防除体制の構築を図った。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林環境税を活用した森林ボランティアの活動支援、「森の先生」による森林環境教育、「豊かな国の森づくり大会」の開催、民間施設への県産材木製品等の導入及び荒廃森林の整備等を実施し、森林環境保全の推進と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図った。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉法に基づく掘削や動力装置の許可について、適正に処分を行った(件数:掘削及び増掘許可64件(うち地熱発電6件)、動力装置許可30件)ことにより、温泉資源の保護と利用の両立が図られた。</li> <li>・地熱発電関連の温泉掘削申請について、申請事業者の円滑な事業進捗と温泉資源の保全・適正利用を図るため、温泉部会内規の運用指針を作成した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫島・豊後大野両ジオパークの再認定審査への対応を支援し、再認定となった。また、両ジオパークの活動が持続可能となるよう、看板設置やガイド養成等に対する助成を行い、受入れ態勢の充実を図った。</li> <li>・ユネスコエコパークへの登録決定を受け、登録決定記念シンポジウムを開催することで、登録決定の周知並びに自然環境の保護・保全及び地域活性化に向けた機運が醸成された。</li> </ul>

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>第6回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (H29.7)</p> <p>・ユネスコエコパークを活用した取組は全ての分野の横串が必要で、各部局が主体となった施策が必要だと考える。</p>
--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北西部で急増している特定外来生物アライグマに対し、民間団体等との連携体制を構築し、計画的に防除を進める。</li> <li>・森林体験活動の支援や次世代の森林づくり活動のリーダーとなる人材を育成することにより、県民総参加の森づくり運動を推進する。</li> <li>・温泉資源の保護と適正利用を推進するため、基礎データとなる温度・湧出量等の利用状況の調査を実施する。</li> <li>・日本ジオパークの再認定を受け、天然記念物の調査等を活用し、姫島・豊後大野の自然環境の保護・保全を促進するほか、地域資源の調査研究のため、学術研究機関等との連携を強化するなど、ジオパーク活動の充実に向けた支援を行う。</li> <li>・学術委員会を中心としたユネスコエコパーク内の学術研究を充実させるほか、PRイベント等の開催による普及啓発、大分県ユネスコエコパークオフィシャルアーティスト等による情報発信を行う。</li> </ul>

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	生物多様性保全推進事業	24,142	A	継続・見直し	97
	中山間地域等直接支払事業	1,833,150	A	継続・見直し	213
	農業農村多面的機能支払事業	967,363	A	継続・見直し	214
	(公)海岸保全事業(河川)	19,415	-	-	221
	(公)港湾環境整備事業	49,093	-	-	222
	県営都市公園施設整備事業	470,527	-	-	223
	おおいたジオパーク推進事業	39,168	A	継続・見直し	98
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	35,070	A	継続・見直し	99